
2017年7月期 決算説明会

包装システムのトータルプランナー

ゼネラルパッカー株式会社



証券コード: 6267

目次

- I. セグメントと事業環境
- II. 2017年7月期決算概況
- III. 新中期経営計画ならびに
2018年7月期業績見通し
- IV. 参考資料

セグメント別事業概要

2016年9月1日付で、オサ機械を完全子会社化したことから、2017年7月期第1四半期より、単体決算から連結決算に移行。同時に単一セグメントから、2つのセグメントに変更。

包装機械

主要品目

包装機から包装システムまで

・袋詰用包装機

給袋自動包装機
(ガス充填自動包装機含む)



製袋自動包装機



・包装関連機器等

ゼネラルパッカー

蘇州日技通用包装機械(中国)

2016/3月設立

↑ ロボット応用システムの仕入

その他関係会社;ワイ・イー・データ(安川電機子会社)

生産機械

主要品目

機器からプラントまで

・製菓機械

チョコレート製造機械



オサ機械

2016/9月子会社化

事業環境

<包装機械業界>

- 国内の包装機械需要は堅調に推移
- 平成28年度の輸出高は、5年連続でプラス

平成29年上半期計 生産金額
 全体 前年同期比3.6%増
 個装・内装機械 前年同期比2.3%増
 製袋充てん機 前年同期比5.4%減

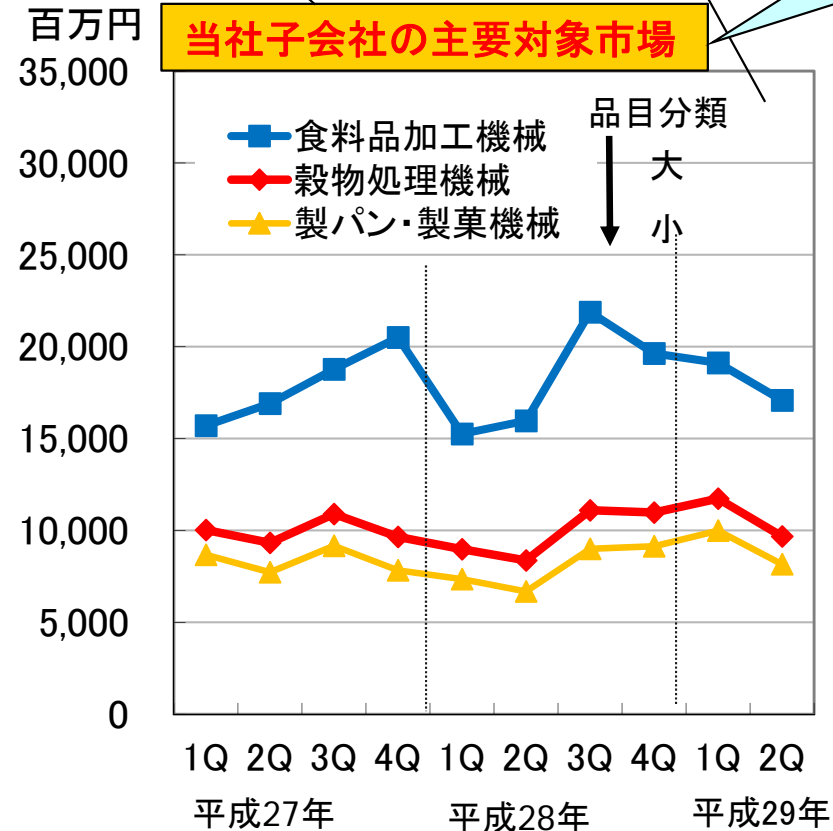
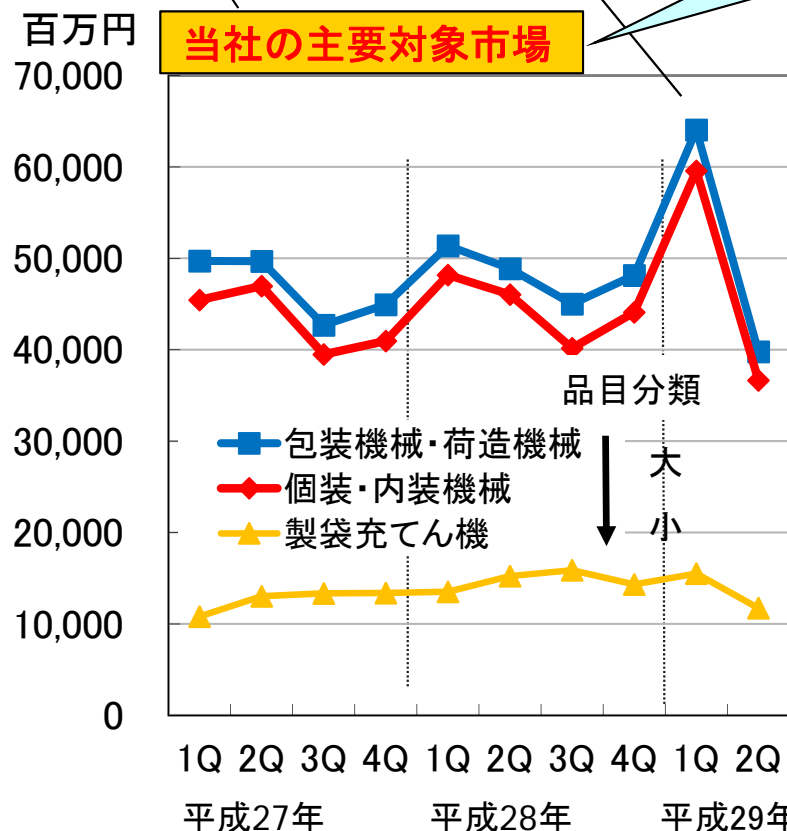
<当社>
 国内・海外ともに
 需要は堅調、
 受注が増加

<食品機械業界>

- 国内の食品機械需要は回復基調
- 輸出は、アジア地区向けが減少基調で推移

平成29年上半期計 生産金額
 全体 前年同期比16.4%増
 穀物処理機械 前年同期比24.0%増
 製パン・製菓機械 前年同期比30.1%増

<当社子会社>
 国内の高額需要
 が少なく、受注が
 低迷



II. 2017年7月期 決算概況

連結決算の会計期間

2017年7月期第1四半期より、連結決算へ移行

2017年7月期

	決算日	2016年						2017年						
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
連結	7月31日		第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
当社(単体)	7月31日		第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
中国子会社	12月31日	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			
オサ機械	7月31日			第1四半期		第2四半期		第3四半期			第4四半期			

2017年7月期実績

【包装機械】当社・中国子会社：12ヶ月間

【生産機械】オサ機械：11ヶ月間

※中国子会社は、6月30日を仮決算日とする財務諸表を使用し、連結上必要な調整を行っています。
 ※オサ機械は、当連結会計年度において、決算日を3月31日から7月31日に変更し、連結決算日と同一としています。当該変更が連結財務諸表に与える影響はありません。

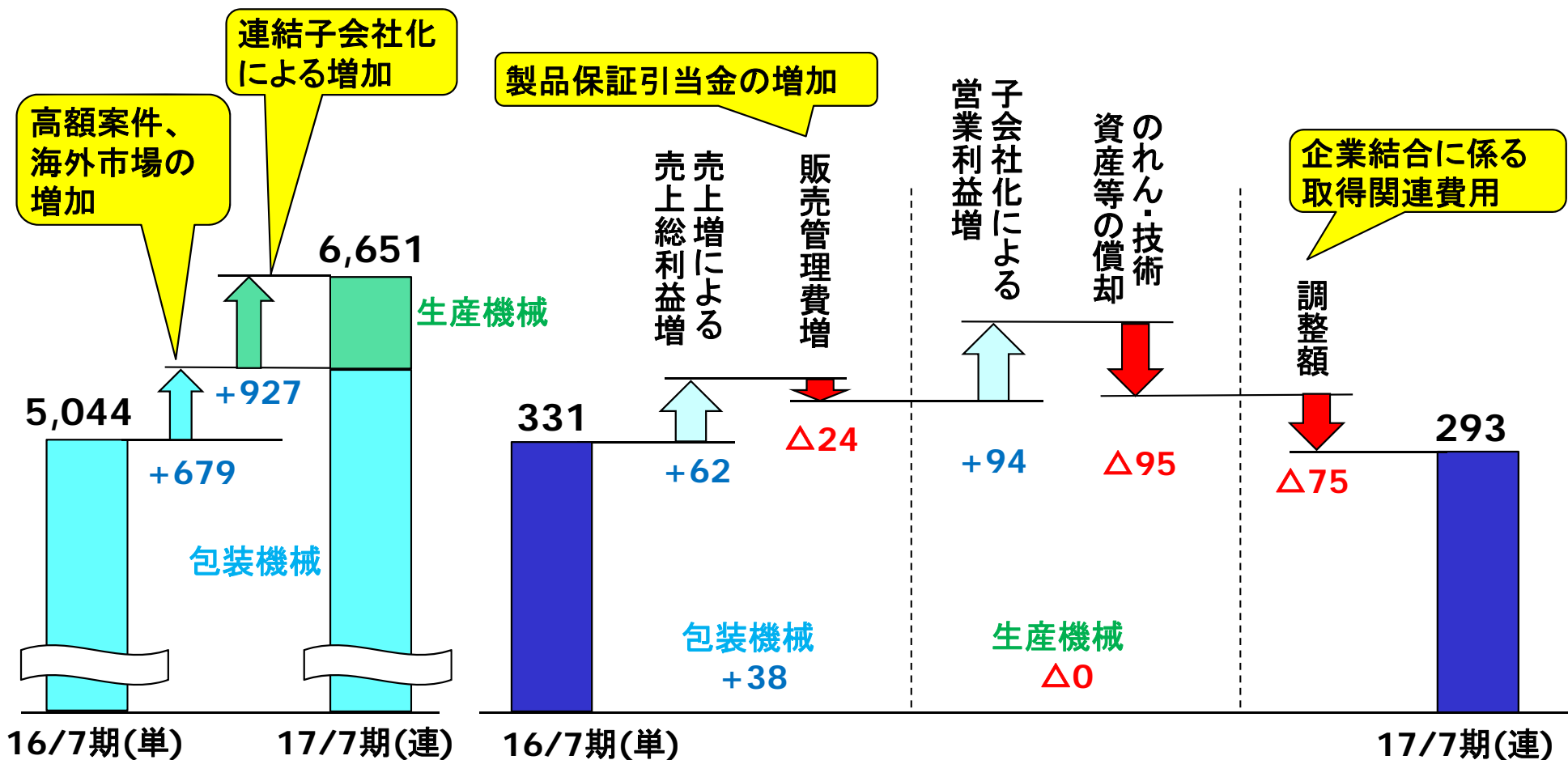
2017年7月期 決算のポイント

※2017年7月期第1四半期より連結決算に移行したため、前期は単体決算の数値で参考比較しています。

売上高 (参考)
1,606百万円の増収

営業利益増減要因(前期比) 37百万円(参考)の減益

(単位:百万円)



業績予想比; 251百万円増収、2百万円減益

2017年7月期 決算概要

(単位:百万円、%)

	2016年7月期 (単体)		2017年7月期 (連結)		(参考) 前期比		2017年7月期計画 (連結)		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率	金額	計画比	率
売上高	5,044	100.0	6,651	100.0	+1,606	+31.8	6,400	+251	+3.9
売上総利益	1,455	28.8	1,730	26.0	+275	+18.9	1,711	+19	+1.1
営業利益	331	6.6	293	4.4	△37	△11.4	296	△2	△0.9
経常利益	332	6.6	297	4.5	△34	△10.5	300	△2	△0.8
当期純利益	232	4.6	188	2.8	△43	△18.6	160	+28	+17.9

※2017年7月期第1四半期より連結決算に移行したため、前期は単体決算の数値で参考比較しています。

前期比:増収・減益

- 売上総利益は、増収により、前期比275百万円増加。
売上総利益率は、包装システムの増加と大型プラントの影響で、前期から低下。
- 営業利益率は、企業結合に係る取得関連費用(75百万円)の影響で低下。
- 経常利益は、計画を下回り、前期比34百万円減益。
- 当期純利益は、計画を上回ったが、前期比43百万円減益。

セグメント別業績概要

(単位:百万円、%)

	2016年7月期 (単体)		2017年7月期 (連結)		(参考) 前期比		2017年7月期計画 (連結)		
	金額	利益率	金額	利益率	金額	率	金額	計画比	率
売上高	5,044		6,651		+1,606	+31.8	6,400	+251	+3.9
包装機械	5,044		5,724		+679	+13.5	5,500	+224	+4.1
生産機械			927		+927	-	900	+27	+3.0
営業利益	331	6.6	293	4.4	△37	△11.4	296	△2	△0.9
包装機械	331	6.6	370	6.5	+38	+11.5	352	+17	+4.9
生産機械			△0	-	△0	-	19	△19	-
調整額			△75	-	△75	-	△75	-	-

※2017年7月期第1四半期より連結決算に移行したため、前期は単体決算の数値で参考比較しています。

生産機械:9月-7月 11ヶ月累計。

2017年7月期計画のセグメント別は、第2四半期決算発表時の計画です。

【包装機械】 増収・増益、利益率は中国子会社の営業損失にて、前期から低下。計画に対して増益

【生産機械】 無形固定資産(のれん・技術資産等)の償却にて、営業損失発生。計画に対して減益

【調整額】 企業結合に係る取得関連費用

セグメント別売上内訳

(単位:百万円、%)

	2016年7月期 (単体)	2017年7月期 (連結)	前期比増減(参考)		2017年7月期計画 (連結)
			金額	率	
包装機械	5,044	5,724	+679	+13.5	5,500
給袋自動包装機	2,982	3,221	+239	+8.0	3,104
製袋自動包装機	317	234	△82	△26.1	234
包装関連機器等	413	785	+371	+89.9	862
保守消耗部品その他	1,331	1,482	+151	+11.4	1,300
生産機械	-	927	+927	-	900
製菓機械		792	+792	-	810
保守消耗部品その他		134	+134	-	90
合計	5,044	6,651	1,606	+31.8	6,400

※2017年7月期第1四半期より連結決算に移行したため、前期は単体決算の数値で参考比較しています。

生産機械;9月-7月 11ヶ月累計。

前期比: +1,606百万円、+31.8%

【包装機械】

◇高価格機種及び高額システムの実績が増加

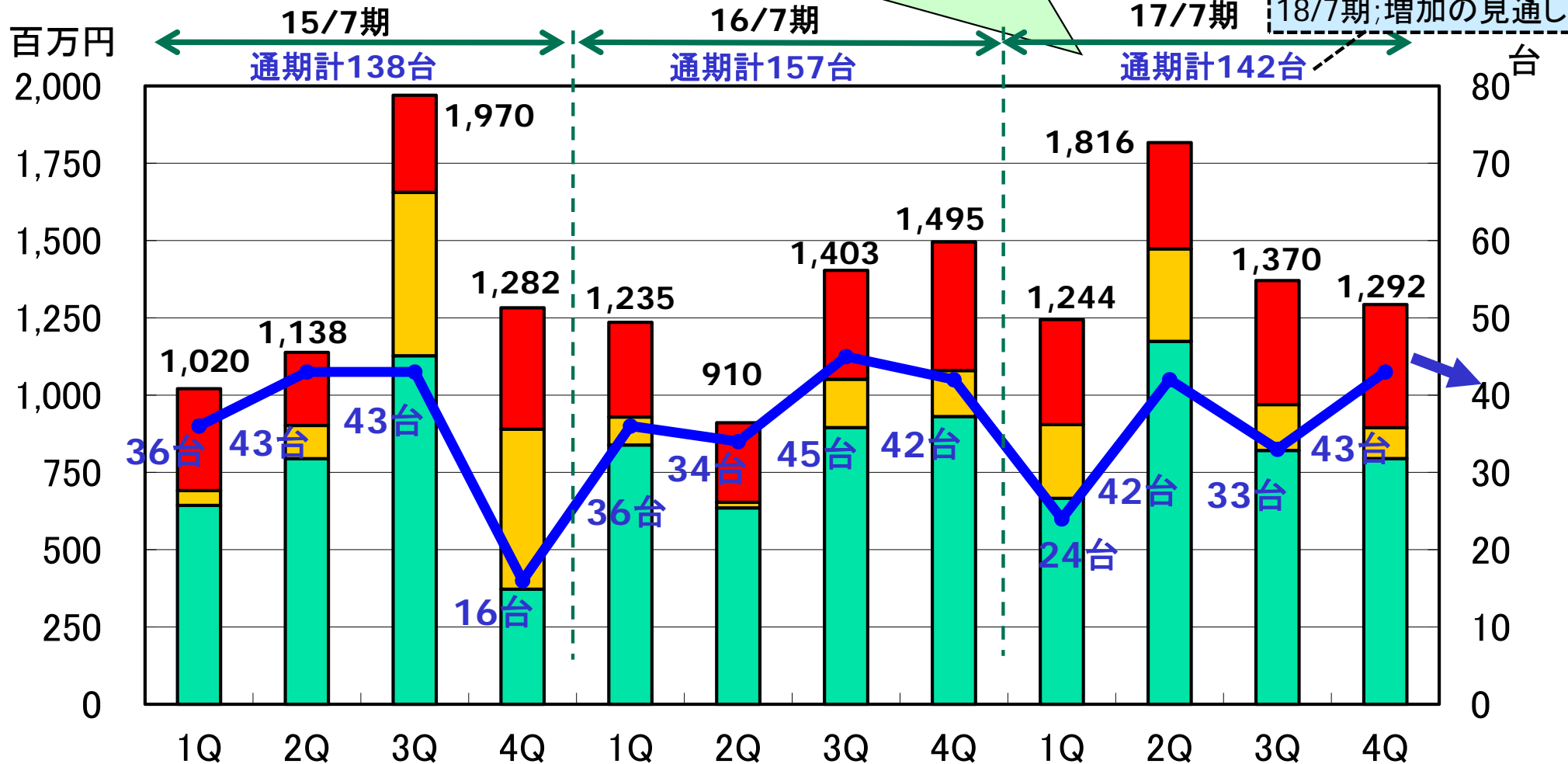
【生産機械】

◇大型プラントの実績

▶ 計画比 +274百万円
給袋自動包装機と保守消耗部品が増加

【包装機械】 四半期売上高

17/7期実績
 自社機販売台数 前期比△15台
 自社機売上高 前期比+156百万円
 ※(給袋自動包装機<ガス充填自動包装機含む>、製袋自動包装機の合計)



大型案件の有無、高額機種の販売台数により、
四半期売上高は大きく変動

■ 自社機合計
 ■ 包装関連機器等
 ■ 保守消耗部品
 ● 自社機販売台数(右軸)

【包装機械】エンドユーザー業種別機械売上高

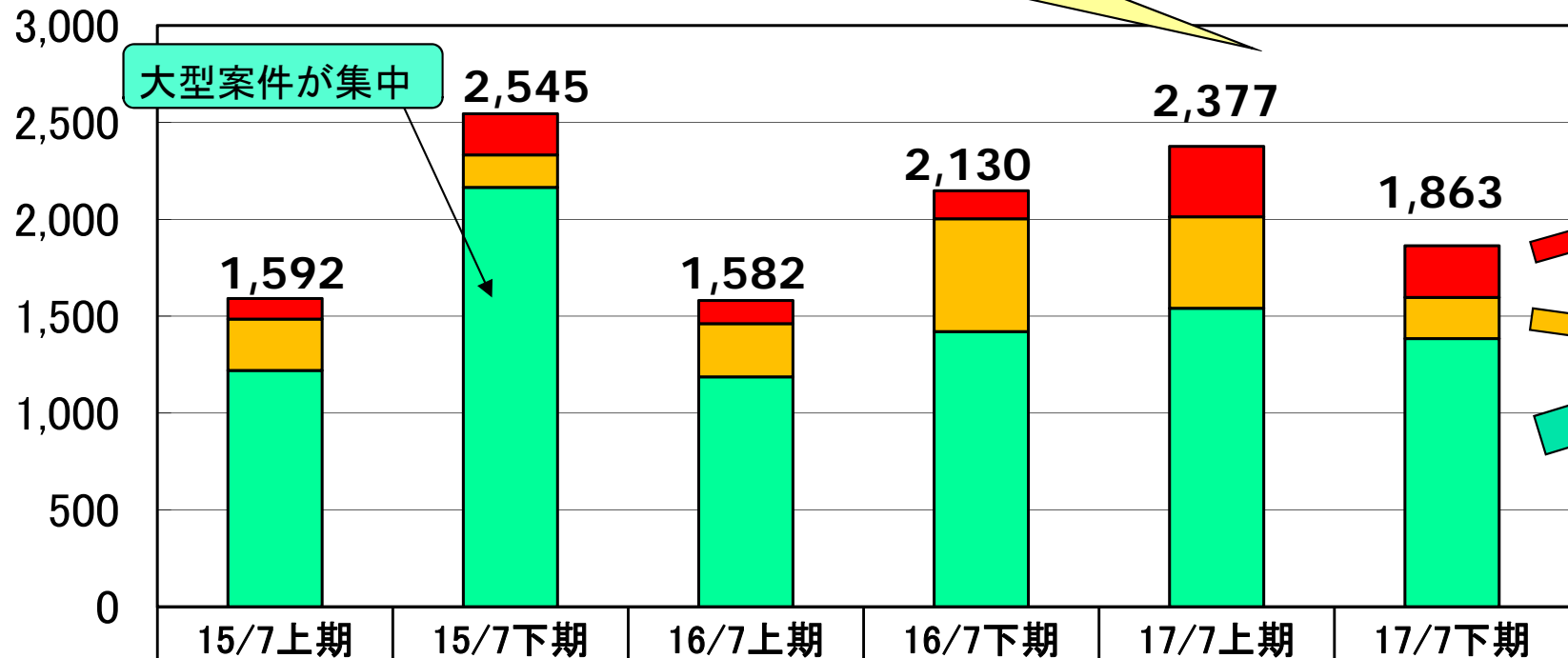
食品業界・その他の増加により、機械売上高は前期比14.2%増

<化学関連業界>
医療分野、健康食品等
<その他>
ペットフード、種苗等

17/7期実績
食品業界 前期比 13.0%増
化学関連業界 前期比 20.3%減
その他 前期比136.6%増

18/7上期見通し(17/7下期比)
食品・その他が増加の見通し

百万円



■ その他	106	213	120	145	363	266
■ 化学関連業界	265	167	274	582	472	213
■ 食品業界	1,220	2,165	1,187	1,420	1,541	1,384

(注)16/7期までは単体、17/7期は連結決算

【包装機械】国内/海外市場別機械売上高

(エンユーザー市場)

百万円

17/7期実績

国内市場 3,218百万円 前期比 △52百万円
海外市場 1,022百万円 前期比 +580百万円

18/7上期(17/7下期比)

・国内市場
増加の見通し
・海外市場
増加の見通し

台

3,000

2,500

2,000

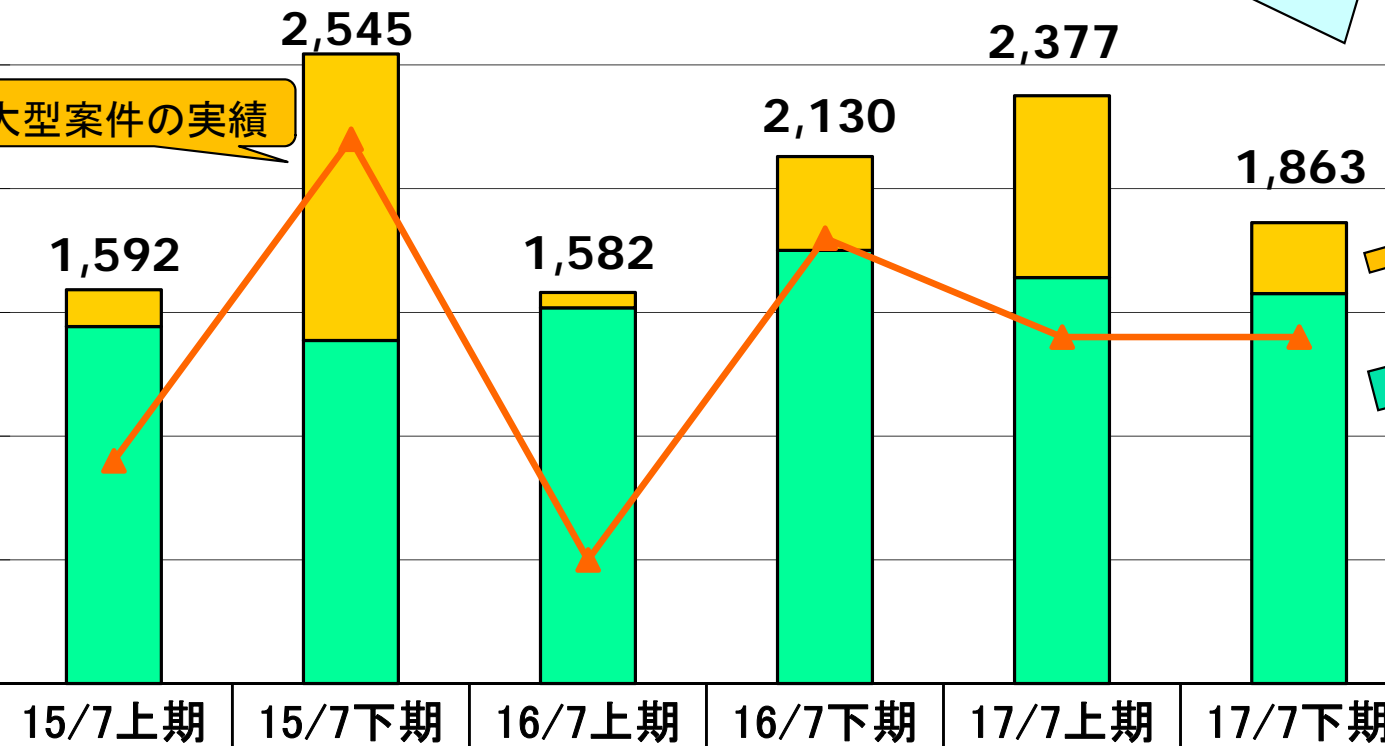
1,500

1,000

500

0

大型案件の実績



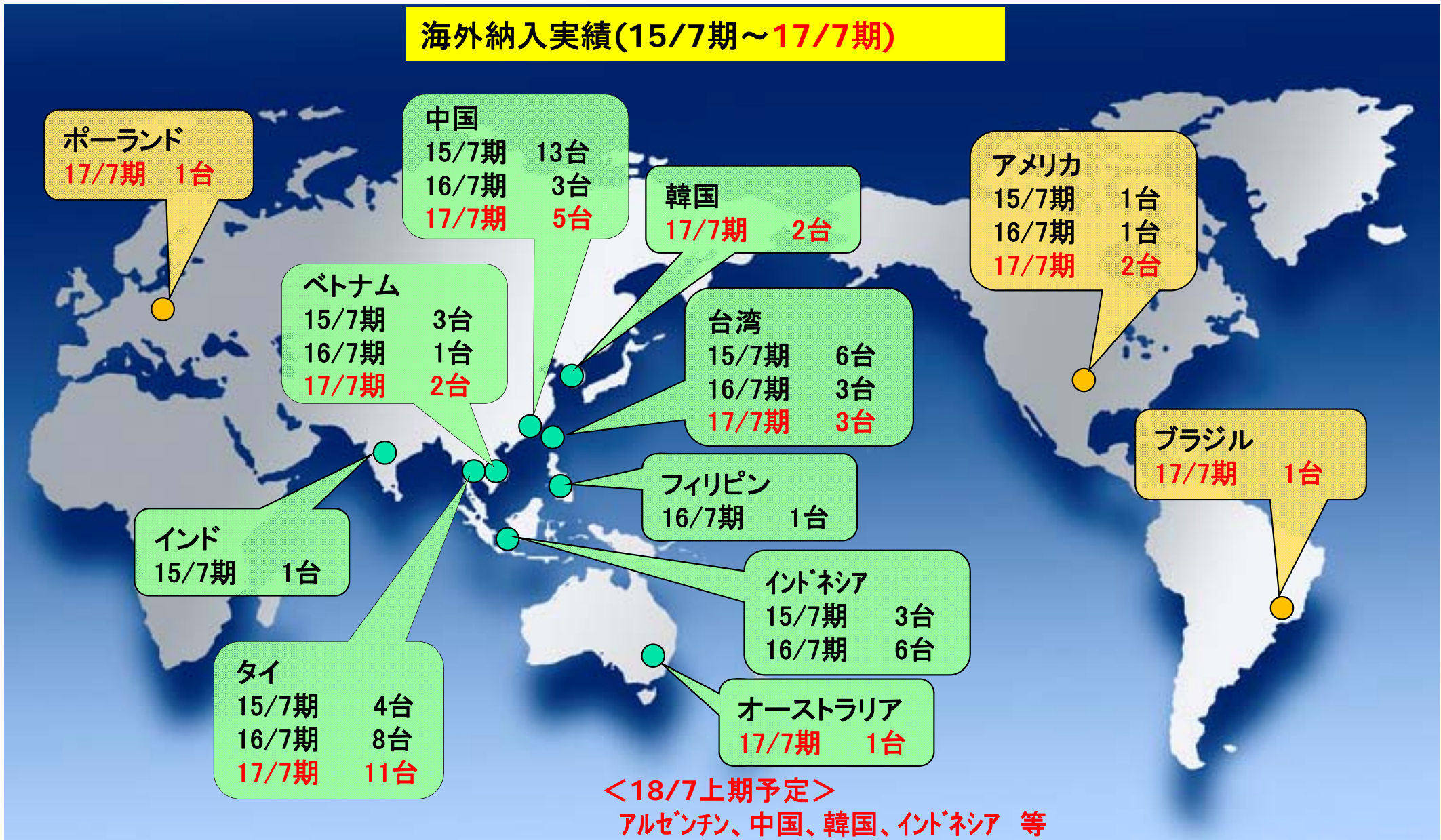
	15/7上期	15/7下期	16/7上期	16/7下期	17/7上期	17/7下期
海外市場	149	1,158	62	379	735	287
国内市場	1,443	1,387	1,519	1,751	1,641	1,576
海外向け台数	9	22	5	18	14	14

(自社機)

【包装機械】海外市場向け 国別実績

※自社機台数

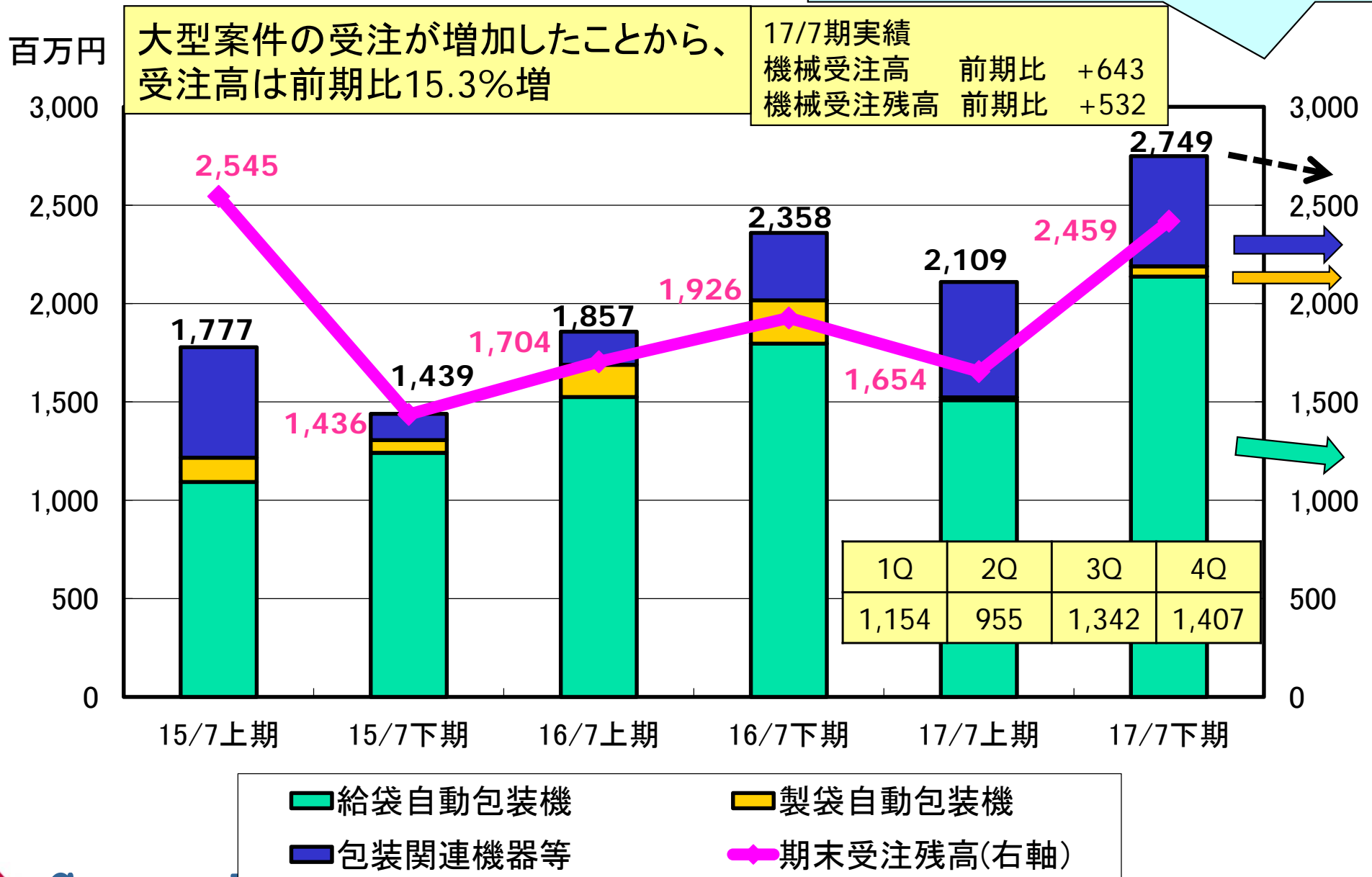
海外納入実績(15/7期~17/7期)



【包装機械】機械の受注動向

<18/7上期計画>

高額案件の増加で、高水準の受注高を目指す
大型案件減少で、17/7下期比減少見込み



(注)16/7期までは単体、17/7期は連結決算

【生産機械】 売上・受注の動向

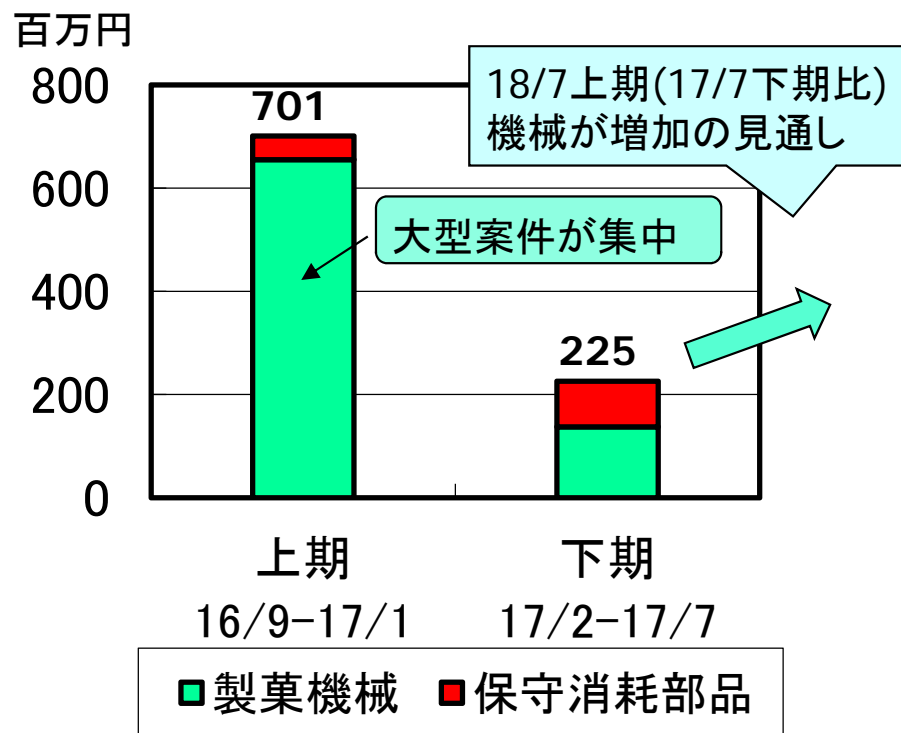
■売上高

16/9月-17/7月 927百万円

◇機械売上高 792百万円

・機械売上件数 41件

(内 海外市場 1件)



大型プラントの有無、高額案件の件数により、半期売上高は大きく変動

■受注

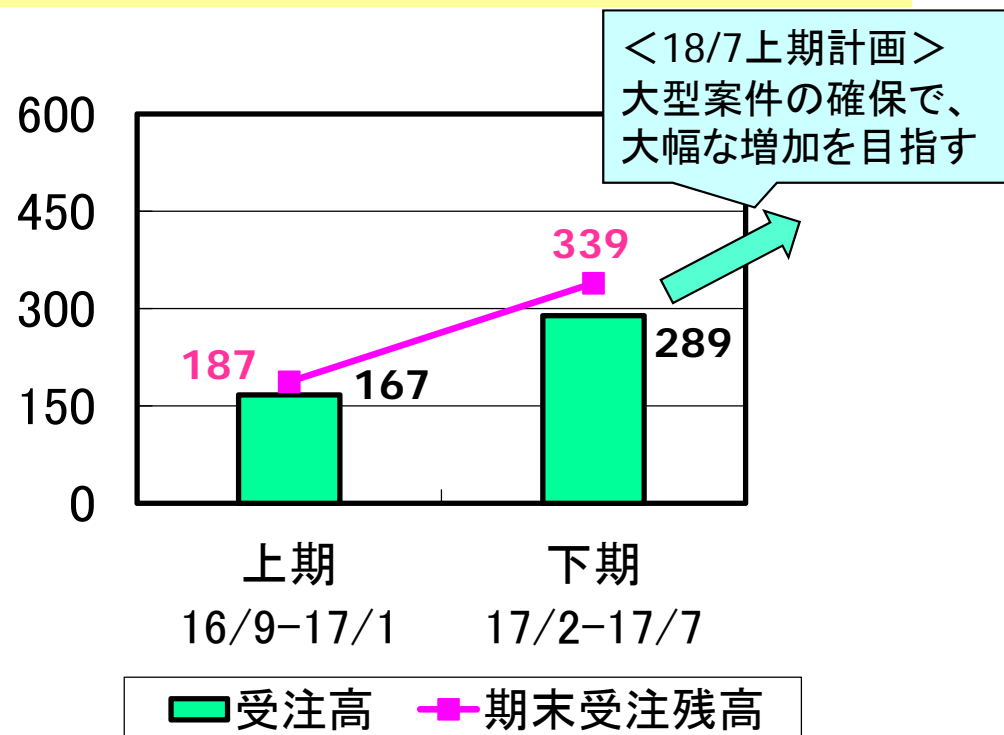
16/9月-17/7月

◇機械受注高 456百万円

・機械受注件数 39件

・高額案件:少

◇機械受注残高 339百万円



Ⅲ. 新中期経営計画ならびに 2018年7月期業績見通し

第4次中期経営計画の総括

(2015/7月期～2017/7月期)

単体では全項目を達成、連結では利益及び利益率が計画を下回る

※2014年9月2日発表時の計画	計画※	実績(単体)	計画比	実績(連結)
売上高	5,500百万円	5,799百万円	+299百万円	6,651百万円
営業利益	295百万円	393百万円	+98百万円	293百万円
経常利益	300百万円	396百万円	+96百万円	297百万円
当期純利益	200百万円	290百万円	+90百万円	188百万円
売上高経常利益率	5.5%以上	6.8%	+1.3p	4.5%
ROA(総資産経常利益率)	5.5%以上	6.7%	+1.2p	4.3%
ROE(自己資本当期純利益率)	6.0%以上	8.7%	+2.7p	5.6%

総括

- 売上高(単体)は、保守消耗部品の需要が好調に推移し、計画を上回る
- 海外事業の強化は、ほぼ計画通りに推移したが、ソリューションビジネスの拡大は、十分には進展せず ⇒第5次中計へ持ち越し
- 最終期に連結へ移行; M&A費用・無形固定資産償却が影響し、連結経常利益率が低下

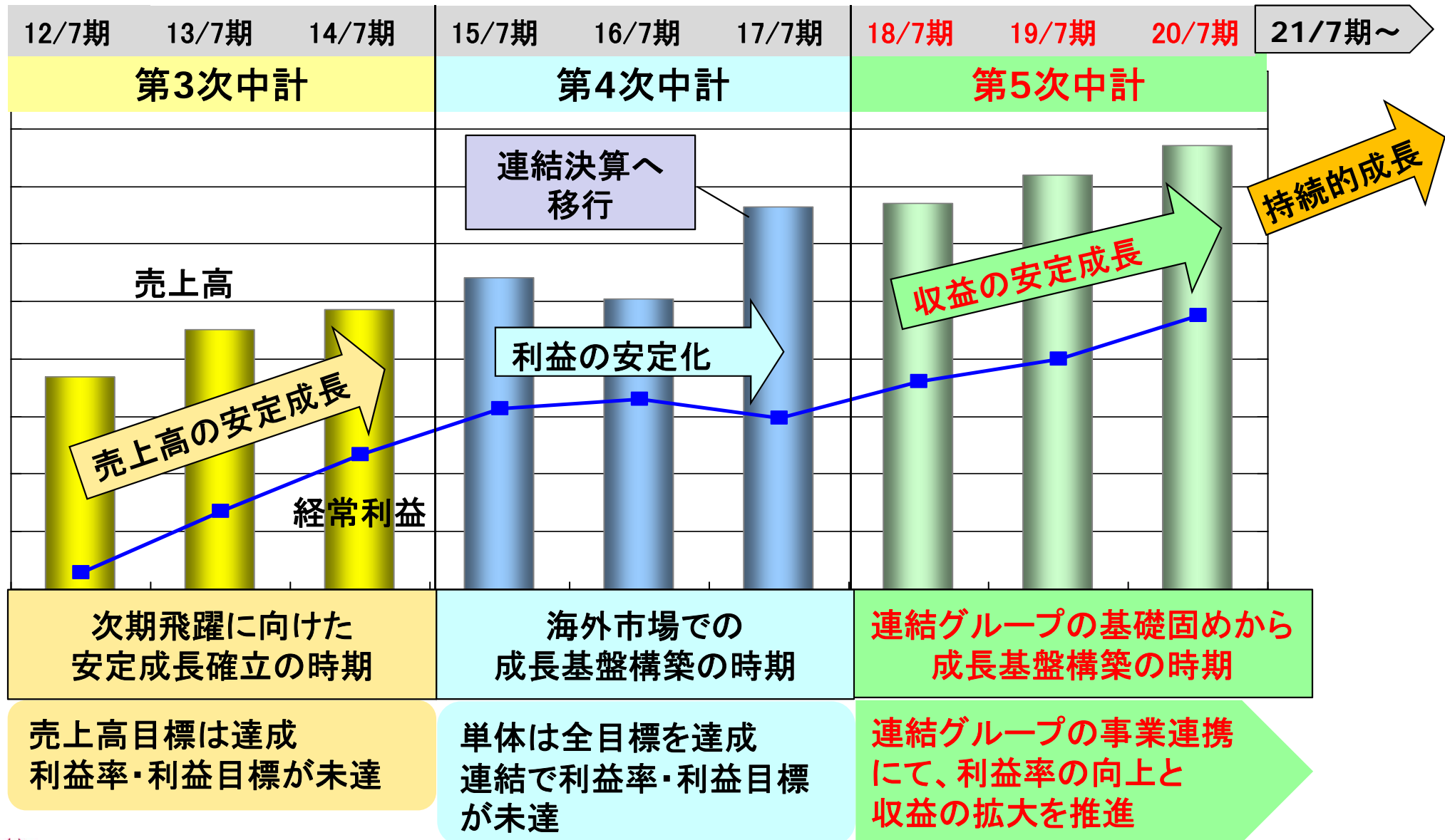
グループ事業連携と連結利益率の向上が重要課題

【単体】事業計画モデル(第4次中計総括)

売上高(単位:百万円)	14/7期実績	第4次中計 17/7期計画	17/7期実績	計画差異
国内市場 (機械)	3,440	3,500	3,218	・大型システムの実績が減少 (自社機は増加)
海外市場 (機械)	440	1,000	1,097	・高額機種が増加
保守消耗部品	970	1,000	1,483	・高額保守が増加
合 計	4,850	5,500	5,799	

※2017年7月期計画数値は、2014年9月中計発表時の計画です。

第5次中期経営計画の位置づけ

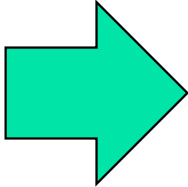


中期経営ビジョン

1. 世界に選ばれ、信頼されるGPグループ
2. オープンイノベーションで応える
ソリューションカンパニー
3. 挑戦心と活気あふれる『ものづくり企業』

中期数値目標

■ 連結経営目標

	第4次中計 17/7期実績		第5次中計 20/7期目標
売上高經常利益率	4.5%		6.0%以上
ROA(総資産經常利益率)	4.3%		6.0%以上
ROE(自己資本当期純利益率)	5.6%		8.0%以上

■ 連結業績目標

	17/7期実績		20/7期目標
売上高	6,651百万円		7,700百万円
經常利益	297百万円		475百万円
当期純利益	188百万円		320百万円

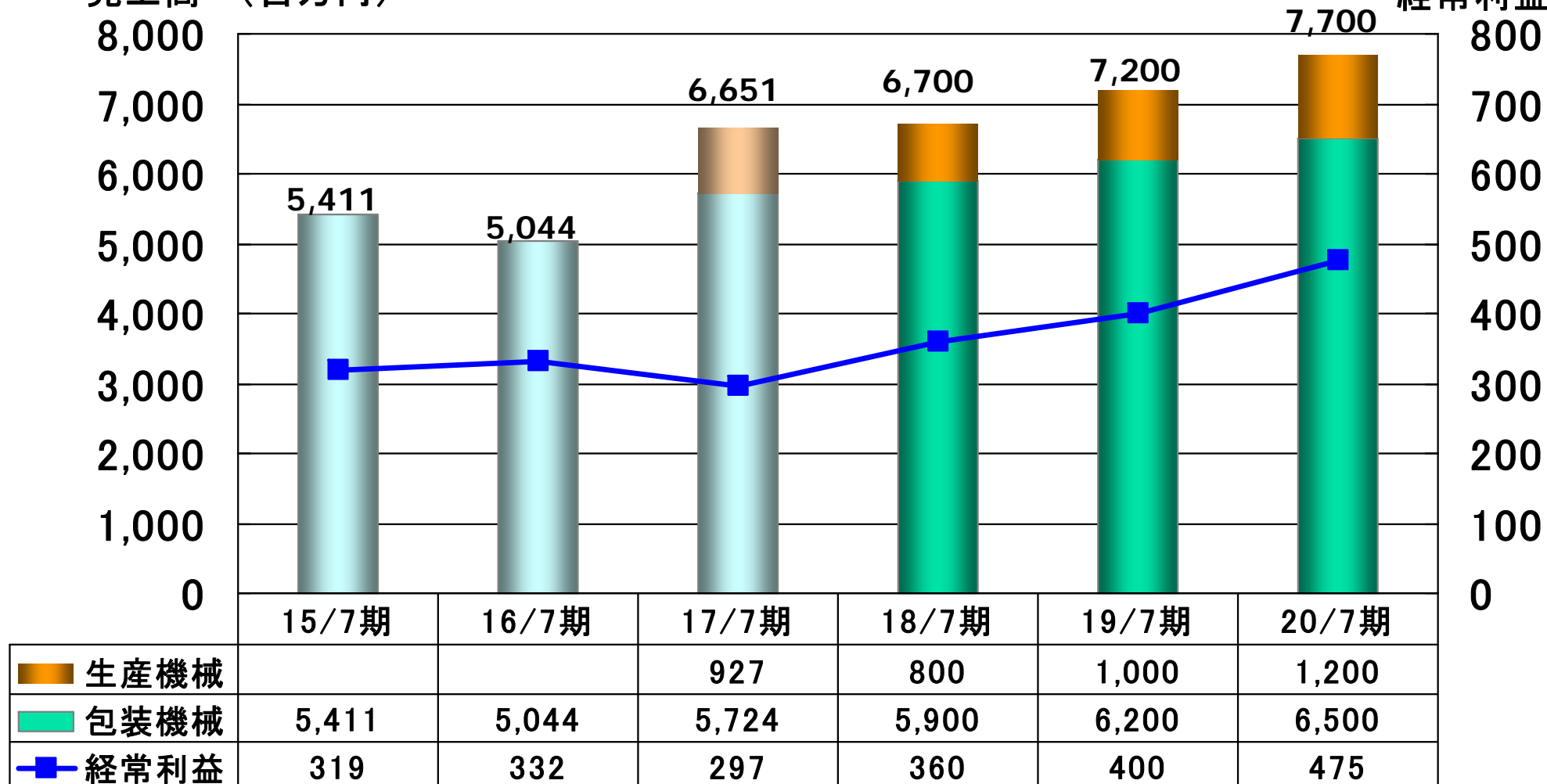
業績計画

第2期以降の数値については、事業環境と業績動向を踏まえて、ローリングする場合あり

利益率の向上と収益の拡大に注力

売上高 (百万円)

経常利益



← 第5次計画 →

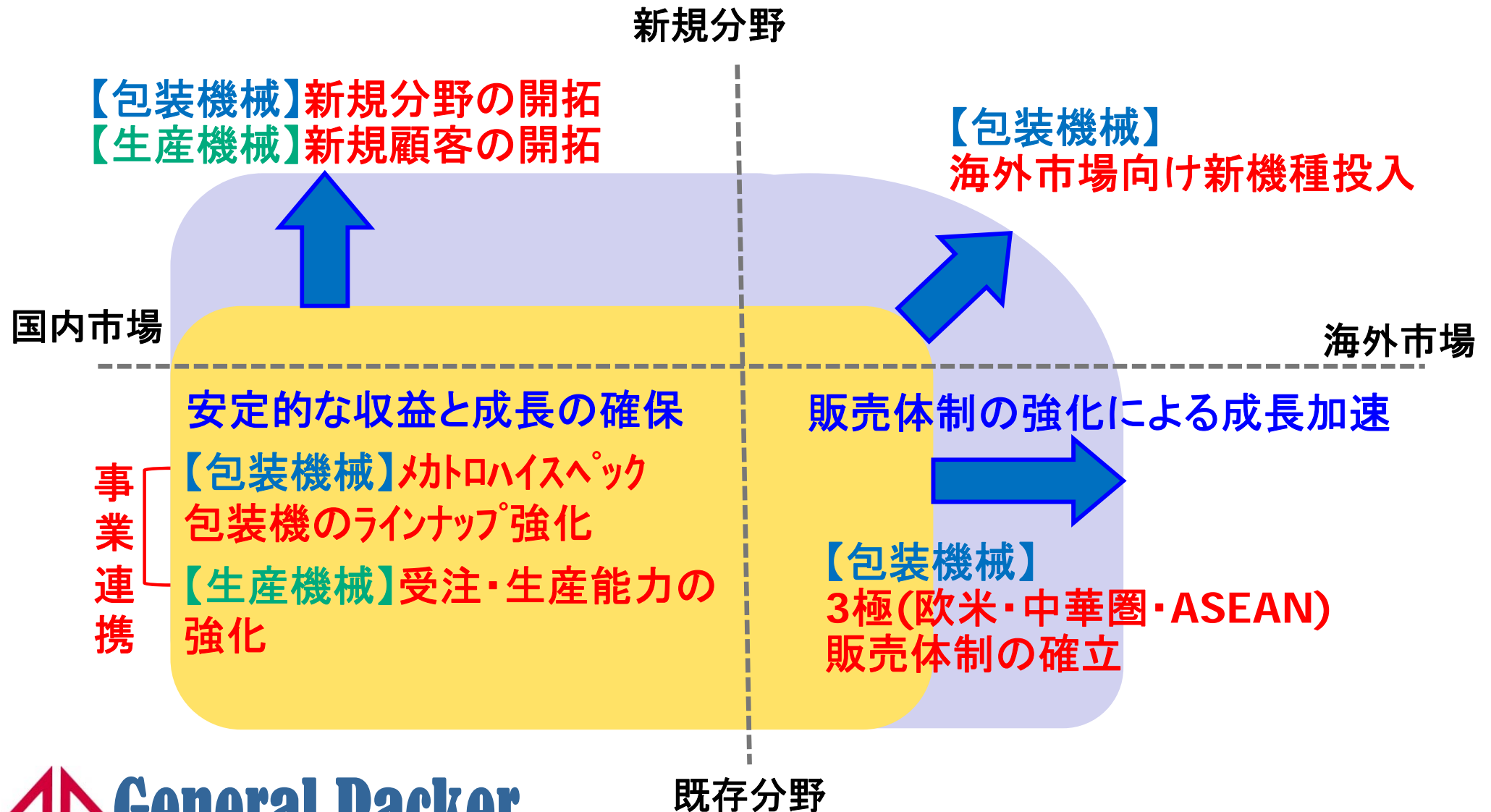
※2015年7月期から2016年7月期までは単体、2017年7月期以降は連結決算となっております。

事業計画モデル(第5次中計)

売上高(単位:百万円)	17/7期実績	18/7期計画	19/7期計画	20/7期計画
【包装機械】	5,724	5,900	6,200	6,500
内;国内市場(機械)	3,218	3,100	3,300	3,400
内;海外市場(機械)	1,022	1,500	1,600	1,800
【生産機械】	927	800	1,000	1,200
内;製菓機械	792	665	860	1,055
合計	6,651	6,700	7,200	7,700

基本戦略

「さらなる成長に向けて海外事業の拡大を目指す」



基本戦略

- ①包装機械と生産機械の事業連携により、国内市場で安定的な収益と成長を確保する
- ②販売体制を強化し、海外市場向け売上高比率20%以上を目指す
- ③世界の包装ニーズにワンストップで応え、ソリューションビジネスのさらなる拡大を図る
- ④メカトロハイスペック包装機シリーズの商品開発を強化する
- ⑤生産機械から包装機械まで一貫したシステムとサービスの提供で、顧客満足度を得る
- ⑥開発力強化と事業領域拡大のためのアライアンスを推進する

主な経営施策

販売戦略

- ①【包装機械】海外3極(欧米・中華圏・ASEAN)販売体制の確立
- ②【包装機械】海外市場向け新機種 of 拡販
- ③【包装機械】国内市場でのメカトロハイスペック包装機の拡販と新規分野の開拓
- ④【生産機械】受注体制と新規顧客開拓の強化

■海外事業(第4次中計)

■新規販売チャネルの開拓(代理店契約締結)

15/7期	16/7期	17/7期
	4社 タイ、台湾、 インドネシア2社	2社 アメリカ、ベトナム

第5次中計

【包装機械】

- ・欧州、中国等の代理店開拓
- ・既存代理店の販売支援
- ・海外展示会への出展
- ・ペットフード用包装機の拡販

■新規顧客開拓の受注実績

6社 アメリカ、インド、 インドネシア、中国、 タイ、ベトナム	10社 (内1社 4カ国一括) 台湾、中国、タイ、 ベトナム、フィリピン	11社 タイ、ベトナム、中国、 オーストラリア、アメリカ、 韓国
--	---	---

【生産機械】

- ・国内市場--【包装機械】と営業連携

主な経営施策

開発・技術戦略

- ①メカトロハイスペック包装機及び海外市場向け新機種の開発
- ②メカトロモーション技術と差別化できるコア技術の強化
- ③海外市場向け開発・設計対応力の強化
- ④プロジェクトマネジメントの強化と開発・設計の生産性向上
- ⑤人材強化と3D CADをベースに開発・設計プロセスの革新

■開発実績(第4次中計)

次世代包装機の開発

- ・メカトロハイスペック包装機 GP-M3000型
2016年8月販売開始

特定ユーザー・業種のニーズに対応した開発

- ・ペットフード用大袋給袋自動包装機
17/7期 ;売上3台 ⇒18/7期以降拡販
- ・食品、酒造等のユーザー向け開発

第5次中計

- ・メカトロスペック包装機のシリーズ開発を中心に推進
- ・ペットフード用包装機のラインナップ強化

主な経営施策

生産・資材戦略

- ①標準化とIT化の推進による生産力の強化
- ②品質管理体制の強化
- ③アフターサービス対応力強化
- ④購買管理体制とコスト競争力の強化

マネジメント戦略

- ①グループ経営管理体制の強化
- ②経営基盤(人材確保・育成、インフラ整備)の強化
- ③働き方改革の推進と人事労務政策の充実

IT戦略

- ①基幹システムの機能強化とクラウド化推進
- ②生産性向上のIT導入・活用の推進
- ③ホームページ再構築とネットPRの強化

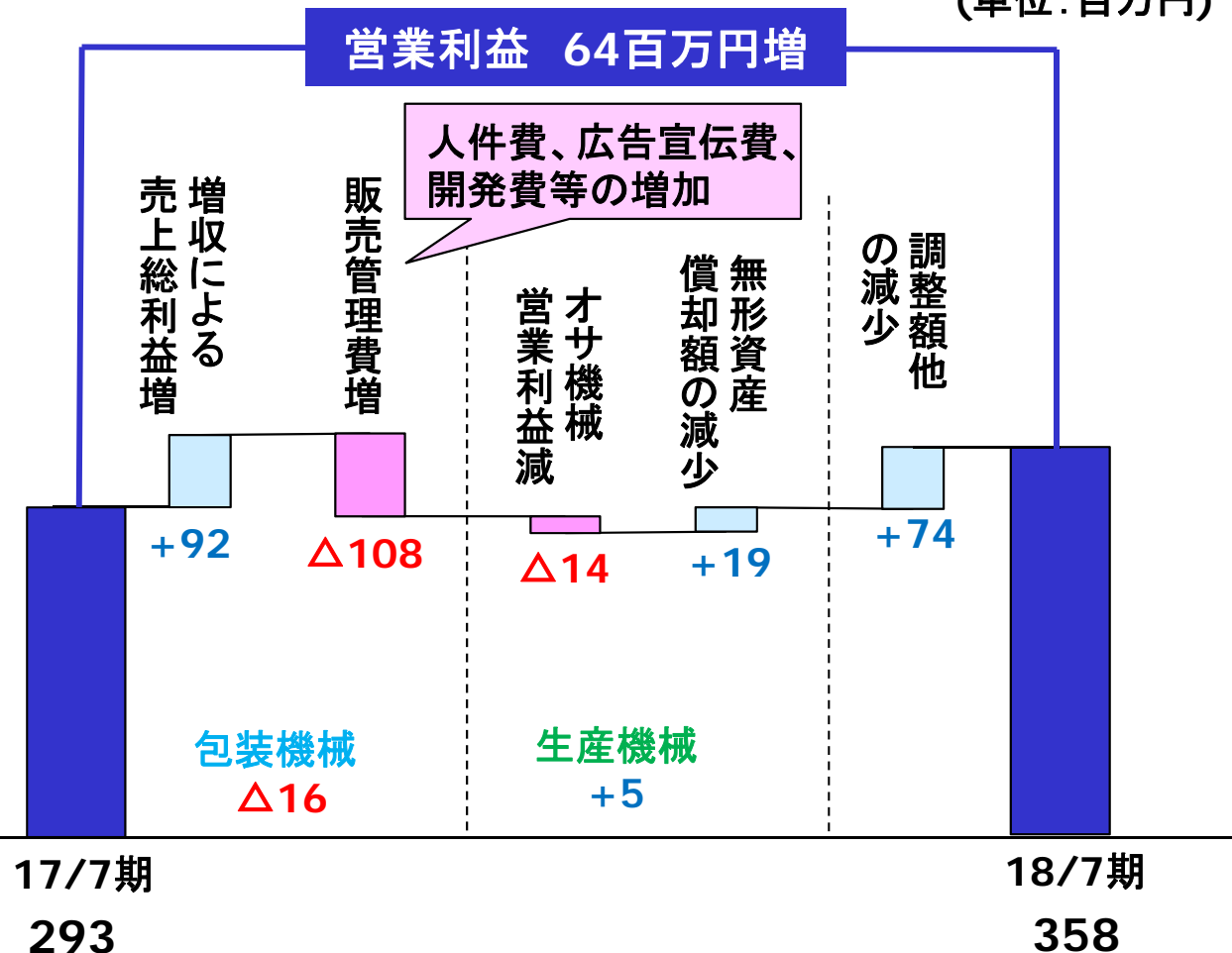
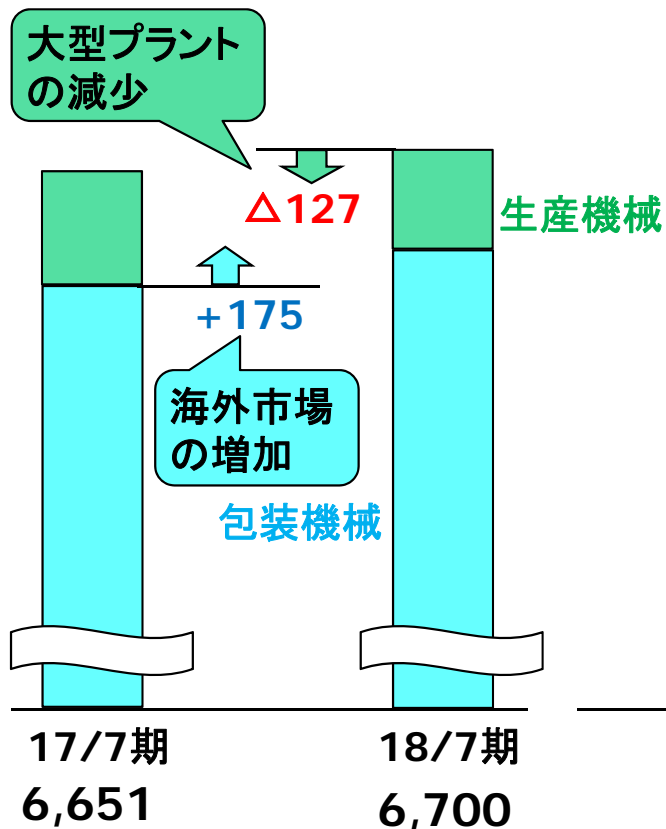
2018年7月期 連結業績見通し(概要)

売上高
48百万円の増収

無形資産償却額と調整額の減少により、
増収・増益の見通し

上期 前年同期比△452
下期 前年同期比+501

(単位:百万円)



2018年7月期連結業績予想

(単位:百万円、%)

	2017年7月期		2018年7月期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
売上高	6,651	100.0	6,700	100.0	+48	+0.7
売上総利益	1,730	26.0	1,826	27.3	+95	+5.5
営業利益	293	4.4	358	5.3	+64	+22.0
経常利益	297	4.5	360	5.4	+62	+21.0
当期純利益	188	2.8	240	3.6	+51	+27.1

増収・増益

- 包装機械の増収により、売上高は前期比0.7%増の67億円を見込む
- 売上総利益率は、前期比1.3ポイント改善し27.3%
- 営業利益率は、前期比0.9ポイント改善し5.3%
- 経常利益は、前期比62百万円増の360百万円を計画
- 当期純利益は、前期比51百万円増

2018年7月期セグメント別業績予想

(単位:百万円、%)

	2017年7月期		2018年7月期		前期比	
	金額	利益率	金額	利益率	金額	率
売上高	6,651		6,700		+48	+0.7
包装機械	5,724		5,900		+175	+3.1
生産機械	927		800		△127	△13.7
営業利益	293	4.4	358	5.3	+64	+22.0
包装機械	370	6.5	353	6.0	△16	△4.5
生産機械	△0	-	5	0.7	+5	-
調整額	△75	-	-	-	+75	-

【包装機械】 増収・減益、販売管理費の増加により、利益率は前期より低下

【生産機械】 減収・増益、無形資産償却額の減少により、黒字化

【調整額】 企業結合に係る取得関連費用

2018年7月期セグメント別売上内訳予想 (単位:百万円、%)

	2017年7月期		2018年7月期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
包装機械	5,724	86.1	5,900	88.1	+175	+3.1
給袋自動包装機	3,221	48.5	3,360	50.2	+139	+4.3
製袋自動包装機	234	3.5	212	3.2	△22	△9.6
包装関連機器等	785	11.8	1,027	15.3	+241	+30.8
保守消耗部品その他	1,482	22.3	1,300	19.4	△182	△12.3
生産機械	927	13.9	800	11.9	△127	△13.7
製菓機械	792	11.9	665	9.9	△127	△16.1
保守消耗部品その他	134	2.0	135	2.0	+0	+0.3
合計	6,651	100.0	6,700	100.0	+48	+0.7

前期比 : +48百万円、+0.7%

【包装機械】 包装関連機器等の増加により、増収

◇大型システムの実績が増加

【生産機械】 大型プラントの減少により、減収

株主還元

中期配当政策

- 株主の皆様への積極的な利益還元を図ることを基本方針として、連結配当性向30%または連結純資産配当率(DOE)2%を目安に、安定配当を堅持しつつ、業績動向を見ながら配当金の増加を目指す。

	2015/7期 (非連結)	2016/7期 (非連結)	2017/7期 (連結)	2018/7期予想 (連結)
中間配当 ※	20.00円	17.50円	20.00円	22.00円
期末配当 ※	25.00円	27.00円	20.00円	22.00円
年間配当 ※	45.00円	44.50円	40.00円	44.00円
当期純利益／株 ※	126.28円	130.63円	106.27円	135.03円
配当性向	35.6%	34.1%	37.6%	32.6%
DOE	2.6%	2.5%	2.1%	2.3%

※2016年2月1日付で、5株につき1株の株式併合を実施
配当、当期純利益/株は、株式併合を考慮した数値に遡及修正しています。

V. 參考資料

包装機械業界

単位:億円

機種別	生産高
個装・内装機械	3,450
包装用計量機	235
充てん機	361
びん詰機械	586
製袋充てん機	642
真空包装機	107
その他	1,519
外装・荷造機械	634
ケース詰機	162
その他	472
合計	4,084

主な上場企業
 専業メーカー:東京自動機械製作所
 兼業メーカー:CKD、渋谷工業 等

需要先別構成比
 ・食品部門 50.6%
 ・化学部門 18.3%
 ・その他 19.1%
 ・輸出 12.0%

袋詰用包装機

当社の主力包装機の区分

(一社)日本包装機械工業会
 「包装機械及び荷造機械生産高統計」
 2015年度実績

当社:包装機械の専業メーカー
 ■ドライ物(粉末・顆粒・固形物等)の包装機械・システムに特化
 ◇高品質・高難易度の包装分野
 ◇チャック付袋包装、ガス充填包装等

主な競合先(ロータリー式包装機メーカー)
 ・東洋自動機(非上場):レトルト物の包装が主力
 ※ナブテスコ連結子会社
 ・古川製作所(非上場):ウェット物・真空の包装が主力

食品機械業界

単位:億円

機種別	販売額
精米麦機械	144
製粉機器	125
製めん機械	108
製パン・製菓機械	1,267
醸造用機械	145
乳製品加工機	573
飲料加工機械	230
肉類加工機械	217
水産加工機械	159
その他食品機械	2,205
合計	5,175

主な上場企業
 兼業メーカー:レオン自動機、
 鈴茂器工 等

・輸出 8.3%

製菓機械

オサ機械(子会社)
 の区分

(一社)日本食品機械工業会
 「食品機械統計」
 2015年実績

オサ機械:チョコレート製造機械の専業メーカー
 ■創業以来80年以上、蓄積された豊富な経験
 ◇チョコレート製造全般
 ◇国内で高いシェアを占める

主な競合先
 ・谷沢菓機工業(非上場)
 チョコレート製造機械、餅・和菓子製造機械、
 米菓機械

会社概要(2017年7月31日現在)

- 設立 1966年(創業 1961年)
- 資本金 251百万円
- 発行済株式数 1,798,800株
- 売買単位 100株
- 決算期 7月末
- 事業内容 各種自動包装機及び周辺装置の製造・販売
製菓機械の製造・販売
- 従業員数 単体;139名(その他臨時雇用者23名)
連結;164名(その他臨時雇用者29名)
- 事業所 本社・工場、東京営業部、上海事務所
- 子会社 オサ機械、蘇州日技通用包装機械
- 役員 取締役 6名(内 社外1名)
監査役 3名(内 社外3名)
- 企業ビジョン

証券コード;6267
東証JASDAQ・名証二部

10月株主総会で監査等委員会
設置会社へ移行予定
社外取締役4名

「社会・株主・顧客・取引先・従業員の全てに対し、誠実で透明性の
高い経営を実践し、信頼され、支援される企業」の実現

事業内容

国内市場

海外市場

主要市場:ドライ物(粉末・顆粒・固形物等)の
包装用機械・システム

主要ユーザー

食品業界

化学関連業界

その他

製粉

製麺

精米

製氷

食品全般

健康食品

医療用品

ペットフード

製パン

製菓

削節

製茶

コーヒー

洗剤

種苗

食品業界の各大手上位への
顧客基盤が強い

チョコレート製造機械分野
国内で高いシェアを持つ

高品質・高難易度の包装分野
・チャック付袋包装
・ガス充填包装等

販売経路

直販

窓口

販売

直販が中心

業界上位が中心

販売

特定顧客・業種、中堅・中小等

機器から
プラントまで

生産機械

個別受注生産

包装機械

袋詰用包装機から包装システムまで

チョコレート製造機械

製菓機械等

開発・設計・製造

給袋自動包装機(ガス充填自動包装機含む)

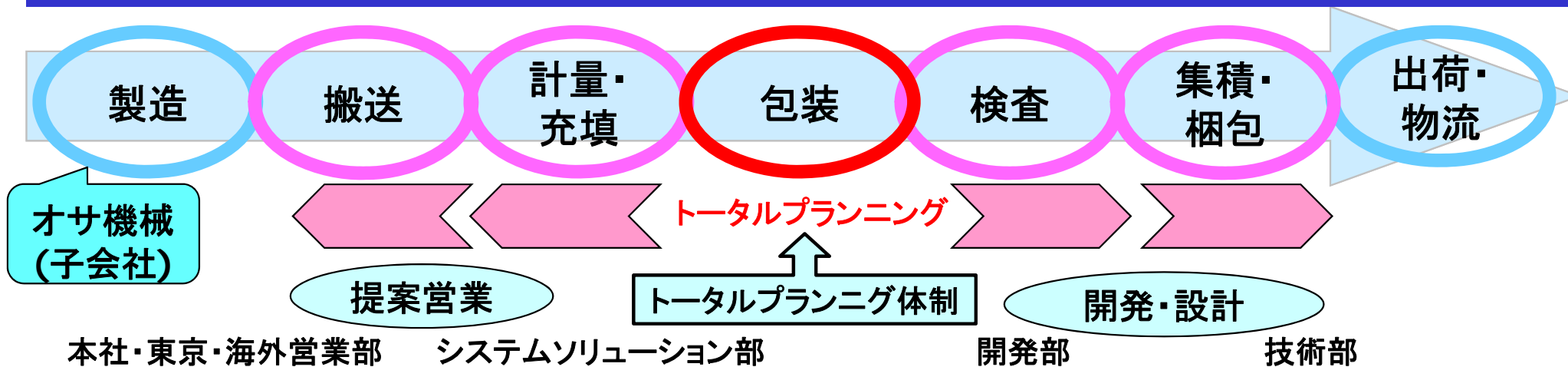
製袋自動包装機

包装関連機器等

仕入

(経営ビジョン)

オープンイノベーションで応えるソリューションカンパニー



挑戦心と活気あふれる『ものづくり企業』

人員推移(単体)

	12/7期末	13/7期末	14/7期末	15/7期末	16/7期末	17/7期末
従業員	123	124	127	131	135	139
(内 開発・技術部人員)	(34)	(38)	(40)	(42)	(42)	(43)
臨時雇用者※	18	19	16	19	18	23
合計	141	143	143	150	153	162

※パート、嘱託、派遣

連結人員合計(臨時雇用者含む)	193
-----------------	-----

包装システムの市場創造型トータルプランナー ゼネラルパッカー株式会社

当資料取り扱い上の注意点

当資料には将来見通しが含まれております。将来見通しは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。この将来見通しは仮定または仮定に基づく根拠が含まれており、環境によっては想定された事実や根拠は実際の結果とは異なる場合があります。当社または当社の経営者は将来の結果についての期待または確信を述べていますが、その期待や確信、あるいはそれに近い結果が実際に達成されるという保証はありません。また法令上、別途の定めがある場合を除き、当社はいかなる将来見通しも最新のものとする義務を負っておりません。

【IR窓口】 経営企画室

〒481-8601

愛知県北名古屋市宇福寺神明65

電話：0568-23-3111

FAX：0568-22-3222

E-mail：info@general-packer.co.jp

